

藤森太まさかの失格

男子1000
平泳ぎ

【男子1000m平泳ぎ決勝】失格となり、悔しがる藤森太将（木下グループ）



「無意識で…」口重く

「何があったのか分からない。自分の中では良い泳ぎができていたと思うんですが…」レース後、リオデジャネイロ五輪2000m個人メドレー4位の有力者、藤森太の口は重かった。昨年は日本大学で研究に励むため、ほぼ1年間を競技と離れていたというが、復帰戦で待っていたのは予想外の結果だった。

「テンポ良く泳げていた」と50mまで4位につけたが、ターン直後にバタフライキックの反則。「無意識で何かしてしまったのかも」と落胆した。

今大会「調子を取り戻すためのレース」と位置づけているものの、2000m個人メドレーでの奮闘にも燃える。「勝たないといけない本命なん」。5日予選を控え、世界を知る男は、闘志をみなぎらせた。（矢部 真太）

を水開也（ミキハウ）が59秒30で5連覇し、1000m平泳ぎは大江陵介（イトマン）東進が53秒18で5年連続の優勝。ともに日本水連が定めた標準記録を突破し、代表入りした。50mバタフライは井田憲吉（自衛隊）が23秒40の日本新で初優勝した。

望月、表彰台に興奮

○：神奈川大1年の望月が800m自由形で2位となり、「表彰台に上れると思っていなかったからうれしい」と興奮気味。

2000m自由形で予選落ちし、メンタルがやられていたから無心で泳をかくだけだったという。静岡清水高校が丘高時代の昨夏、全国高校総体2000m自由形で準優勝。「神大で成長して五輪を狙いたい。大学デビュー戦としては良いスタート切れた」とヒロインはさわやかだった。

水泳

競泳日本選手権

日本選手権第2日は4日、東京辰巳国際水泳場で行われ、県勢は男子1000m平泳ぎで、リオデジャネイロ五輪代表の藤森太将（木下グループ、川大2C）が8分37秒63

田中出雲が失格終了で3位に入った。女子1000mバタフライは17歳の池江璃花子（ルネサンス重戸）が56秒38の日本新記録で3連覇し、アジア大会とパン

パシフィック選手権（8月・東京）の代表に決まった。前日の準決勝で出した自身の記録を0秒20更新した。男子は1000m平泳ぎ